

【市町 目標】

○授業改善と家庭学習の充実に向けた取組を両輪で進めることにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

【学校 目標】

○子どもたちの夢中な姿を目指して、授業改善と家庭学習を充実させる実践を工夫することにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

【現状と課題】

○視点1 こうか授業術5箇条に沿った授業スタイル(綾野版)の定着を図ってきたが、子どもたちが自分で課題を立てる、つなげて話し合う、まとめるという力が十分についていない。また、家庭学習については、家庭との連携が不十分である。  
 ○視点2 子どもたちが一人ひとりのよさを認め合い、のびのびと学び合える学習集団作りが弱い学年もある。やさしさ・思いやりを持って関わり合い、高め合える集団づくりに取り組む必要がある。  
 ○視点3 全教職員が「チーム綾野」として団結し、学力向上に向けて研究・研修するとともに、基礎となる力や学習規律など学習の基本を共通理解して徹底指導をすることが大切である。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○探究的・協同的に課題を追究する学習活動の工夫(校内研究)、授業スタイルの定着 ・子どもたちの夢中な姿を目指して、自分で課題を立て、情報を集め、整理をし、まとめて発表することができるようにする。 ○家庭学習の定着 ・家庭学習の手引き作成とノートの指導により、自主的に学ぶ習慣をつける。 ・読書活動を推進し、良い本を一人60冊読む取組を進める。	<b>【取組事項】</b> ○生活習慣・学習規律の定着 ・大切にしたい「あ・や・の」の浸透 ☆あいさつ ☆やさしさ ☆のびのび ・「基礎学力綾野パワーアップ」の徹底指導 ○一人ひとりのよさを認め合い、自分の考えをのびのびと表現できる学級経営 ・月別生活の重点、学校生活の約束の徹底 ・「思いやりの日」、いじめアンケートの充実	<b>【取組事項】</b> ○教師の学びの場としてのOJT研修の推進 ・2ヶ月に1回全体研修、月1回若手教員研修を計画的に進める。 ○全校統一したパワーアップの取組(月・水・金曜のおはようタイム15分) ・指先から→折り紙、あやとり… ・読む→音読練習、名文暗唱… ・書く→100字作文、詩、歌詞… ・計算→ドリル、100マス… 他

その他 取組事項

- ・ミニ実技研修会や模擬・公開授業を積極的に実施し、教職員の指導力を磨く。
- ・ICTを活用した授業に積極的に取り組む。
- ・水口ブロック(水口中学校区、城山中学校区)小中連携を活性化し、家庭学習・家庭学習ノートの統一実践を行う。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体				
視点1	探究的・協同的に課題を追究する学習活動の工夫(校内研究の実践)	・学校評価(児童用)で80%以上 ・授業研究会を通じての教員間による相互評価		
視点1	家庭学習の定着	・全教員による家庭学習ノート点検・評価 ・担任による家庭学習時間の定期的な把握		
視点2	生活習慣・学習規律の定着	・授業参観の機会を通じての教職員同士の相互評価 ・学校評価で80%以上		
視点2	一人ひとりのよさを認め合い、自分の考えをのびのびと表現できる学級経営	・担任が毎月振り返り、子どもを語る会等で発表 ・管理職面談にて報・連・相		
視点3	教師の学びの場としてのOJT研修の推進	・管理職による実施状況の確認 ・職員による研修評価 80%以上		
視点3	全校統一したパワーアップの取組(月・水・金曜のおはようタイム15分)	・成果物(作文等)の廊下掲示 ・学びづくり会での評価・改善		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】